



12月
December

ヤドリギ

花言葉 困難に打ち克つ／忍耐／私にキスして

Kissing under the mistletoe
クリスマスをとぎめかせるストーリー

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 実がついているものは、切り花栄養剤を使用すると日持ちします(注:雄木には実がついていません)。
- 乾燥に弱いので霧吹きをするとよいでしょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①ヤドリギのシンプルなスワッグを作ります。「swag」とはドイツ語で「壁飾り」のことで、「魔除け」や「幸福を呼ぶ」飾りとされています。
- ②ヒノキの枝を40cmほどの長さに小分けにし、2～3本の小枝にします。枝元を手前に並べ、その上にヤドリギをのせて束状にまとめ、麻ヒモなどでぎゅく縛ります。
- ③最後にお好みのリボンなどを結んで完成！ドアや壁に飾りましょう。

ヤドリギの下でキスをして

冬の森に大きな鳥の巣のように現る「宿り木」は、渡り鳥の飛来により生まれる“着生植物”の一種。北欧神話ではヤドリギが生えている木は神が宿る聖なる木とされ、小枝を吊るしその下を通る時に幸福や幸運を願う風習が、いつの日からか「クリスマスにヤドリギの下でキスをする」と2人は結ばれる」というロマンティックな伝説に。

